

東芝インフラシステムズ(株) 環境経営基本方針



東芝インフラシステムズ(株)は、社会・産業インフラへの製品・システム・サービスの提供を通じて、技術とパートナーシップで暮らしの安全・安心を実現し、人と地球の未来に貢献します。また、当社は、事業そのものが環境活動であると考え、新しいサービスや価値を創造するサイバー・フィジカル・システム(CPS)技術で、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献し、グローバル共通の課題を解決します。

そして、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンの描く「地球と調和した人類の豊かな生活」の実現のために、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会をめざします。

1. 環境への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、環境経営を推進します。

- (1) 事業と調和させた環境活動を通じ、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- (2) 組織の環境側面について生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防等に関する環境目標を設定して、環境保護を推進します。
- (3) 環境側面に関する法令、当社が同意したその他の要求事項及び自主基準を遵守します。
- (4) 環境活動に全員で取組み、国内外の当社グループ一体となった環境活動を推進します。

2. ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する製品・システム・サービスを提供し、社会に貢献します。

- (1) 持続可能な社会の実現のため、社会に与える価値や意義を考え、将来を見据えた環境技術の開発に努めます。
- (2) エネルギー変換効率の向上、エネルギー損失の低減、消費電力の低減等によりCO₂排出を抑制します。
- (3) 小型化、軽量化等により資源投入量を削減します。
- (4) モジュール化や解体性向上等により再使用・再利用を容易化します。
- (5) 特定化学物質の含有量を削減、代替化します。
- (6) ICT等を活用したソリューションによって、新たな価値を提供します。

3. 事業プロセスにおいて、次の環境活動に取組み、環境負荷低減に努めます。

- (1) 生産設備、動力供給設備、製品輸送等に使用する電気・ガス・化石燃料等のエネルギー使用量削減によりCO₂排出を抑制します。
- (2) 温室効果ガス(SF₆ガス等)排出を抑制します。
- (3) 化学物質取扱量の管理と排出量の削減により環境負荷を低減します。
- (4) 廃棄物総発生量削減と水使用量削減により資源の有効活用を推進します。
- (5) 環境負荷の少ない物品や材料を購入するグリーン調達を推進します。

4. 信頼されるパートナーとして地域・社会と協調・連携した環境活動により社会に貢献します。

- (1) 地域・社会との相互理解促進のための、環境情報の積極的な社内外への開示及び環境コミュニケーションの充実を行います。
- (2) 地域・社会の環境活動への積極的な参画・協力を行います。

2019年 4月 1日

東芝インフラシステムズ(株) 社長

今野貴之